

令和3年5月25日

吉永地区2支部説明会（令和3年5月25日）要旨

【凡例】 ○は意見、質問 →は教育委員会の返答

○4支部で、決定事項という回覧が回ったようだが？

→そうした回覧は回していない。改めて確認するが、決定事項ではない。今後4支部の説明会があるので、訂正していく。

○吉原東中学校、吉原第三中学校の成り立ちを考慮すると、吉原第三中学校を吉原東中学校に統合できないか。

→早急に対応する必要があるのは吉原東中学校である。統合の方法も様々にあるが、吉原東中学校の課題を考えていくと吉原東中学校を吉原第三中学校に編入という案になった。

→「吉原第三中学校を吉原東中学校に統合」となると、教室等の設備の面で難しい。新設や増設には費用が掛かる。吉原第三中学校には教室等の空きがある。施設の面でも無駄がないようにしたい。

○学区割を見直していけば改善できるのではないか。

→全ての学区を見直すべき意見があるが、市の小中学校の学区は地区割りを原則としているため、人数をもとに校区を決定することはできない。また、適正規模適正配置基本方針には学区編成を見直すという考えは含まれていない。

○大人の考えだけでなく子どもの意見は聞いているのか。

→1支部の説明会（5月20日）でも出てきた質問であり、現在、検討している最中である。

○歴史を知っている地区の方々の思いも大事だが、今後、その学校に通う方々が大切である。まずは通学する子の親の意向を聞いて、大切な子どもたちの未来を考えてもらいたい。今回のような自由参加ではなく、未就学児や小中学校の児童生徒の親を集めて意見を聞くことはできないか。

→保護者や未就学児の親の意見を聞くことが大切だということは共通の認識である。そのため、広報誌やPTA総会での説明などを行い、情報発信に努めている。ただ、未就学児や小中学校の児童生徒の親に限定して意見を伺うことは難しいので、このような形で地域の意見を伺っている。身の回りにそのような方がいたら、今後の説明会に参加するように紹介してほしい。

○中学校生活3年間の途中で、編入されることになることになると、友人関係や学習面など大切な時期であるので、環境の変化が心配である。交流という話が出ているが具体的にどのように考えているか。

→吉永第一小と原田小、吉原東中学校と吉原第三中学校がともに行事を行うなど、行事を活発化させていくということである。何の行事を一緒にやるかなど具体的な案は、現段階では提案できない。

○今のままで行くと、決定はすぐというのは難しい。令和5年に編入するとすると、今からでも交流を始めないと遅いのではと思う。

→統合編入の話を進めていく上で、子どもたちが不安にならないように、新しく始まった学校で楽しい学校生活があるということを心待ちにできるように最大限の交流を実施していき、最大限のフォローをしていく。

○期日を決めて動き出すことはいいことだと思うが、あと2年で吉原東中学校の生徒を吉原第三中学校に移動させるのは無理があるのではないか。

→あくまでも提案である。編入までの期間は短いが、決定したら子どもたちが不安にならないように、最大限の準備、活動をしていく。

○反対の意見が多くて準備が間に合わず、令和5年の編入は無理ということもあるのか。それともすでに令和5年は決定か。

→あくまでも案であり、変更はあり得る。延ばせば延ばすほど交流活動は充実していき不安は減ると思うが、5年先、10年先となると今通っている子どもたちの学びはそのままでもいいのかということも事実である。

○吉原東中学校が統合した場合、吉原第三中学校にも情緒学級はできるのか。

→現段階での回答は難しい。希望があれば、できるだけその希望に沿えるようにしていきたい。

○吉原東中学校は現在、避難場所になっているがどうなるのか。

→防災時の役割として、どこの学校も避難所となっている。統合が決定されてからとなるが、地域の方が避難しやすく、安心できる場所を確保するのは行政の義務と思っている。

→今回の動きについては、防災危機管理課にも伝えてあるので、決定した場合、連携を取って話を進めていく。

○富士岡本花守町、富士岡花守町から吉原第三中までは、距離がある。安全対策は考えているか。

→自転車通学を許可するなどして、登下校にかかる時間を短くしていく。また、警察や交通安全協会にも協力を願って、生徒が安全に通学できるようにしてもらおう。様々な機関、組織に協力を依頼する予定である。

○地元の間人であっても、危ないと思う道を通らなければならない。交通事故が起こりやすい交差点があり、そこを通過しないと学校に通えない。

→根方街道が狭く、交通量も多いのは承知している。警察に教育委員会からも安全に登下校できるように要望を出していきたい。

○吉永地域内には、吉永交番と須津交番との管轄エリアの区分があるようだが、交番署員から協力が得られるのか。

→警察には本署に提案していく。

- 吉原東中学校からは、世界的に有名な人が出ているがいいのか。
→資料等については、移築等対応していく
- 吉原東中に入学し、その後吉原第三中に編入となった際に、制服はどうなるのか。
→柔軟に対応できるように学校に働きかけていく。
- 早めに吉原第三中学校に通うことを許可するなど、早めに出せないか。それが出たら賛成となることもある。また、吉原第三中学校、吉原東中学校、須津中学校のいずれかに通うことを選択させることはできないのか。
→ここで可否を答えることはできないが、他支部でも意見が出たので、検討はしていく。
- 教育委員会から2年後という方針を出している。内部調整をして、回答、意見を返すことを第一段階として、そこである程度の方向性を決めることができれば、次の段階で具体的な話ができるだろう。教育委員会がどういう方向性にしていくかを決め、大まかな行程を示してくれたほうがわかりやすい。説明会が終わった段階で考える会と相談し骨子を作り、明確な筋道を示してほしい。
→提案の方法や、回答の期日については現段階では明言できないが、6月4日に実施される最終の説明会終了後に、考える会のみでなく保護者や地域の方に最大限早い段階で方針を示していきたい。
- 3支部までが吉原東中学校、4、5支部は吉原第三中学校だから、4、5支部は、説明会に人が出てくるかはわからない。意見も出ないと思う。3支部までの意見である程度考えてもらいたい。
→どの地区も同じように対応していく。
- 令和5年と決めているのは、今の段階だと何も考えてなく決めているように聞こえる。日を区切らず、スケジュールリングを明確にして、いくつかの行程が終わったうえで、そこで編入の時期を決めてはどうか。文言も「目指しています」のほうがずれることも含めて伝わりやすいのではないか。
→いろいろな意見を聞いていく必要があるので、提案であると再三言うようにしている。不安に思われたり、何も考えていないと思われたりするのには残念であるが、考えていないわけではない。ご理解いただきたい。
- 持ち帰った質問に対する回答はいつか。
→質問に対しては、ウェブサイトには回答を公開するなど、何らかの形で回答していく必要があると考えている。
- 編入を提案しますではなく、どういう要件ならば実施するか、しないかを明確にしていく必要がある。
- 編入に関する費用、個人が必要になる制服や体操着等を富士市に負担してほしい。市が決めて、市がやることなので、市が負担するべきである。

○中学校進学の際に分かれた友人と再び同じ学校に通えるという嬉しい思いがある一方で、途中で環境が変わる可能性があるという心配がある。決定事項ではないという時間が長いと不安が大きくなる。